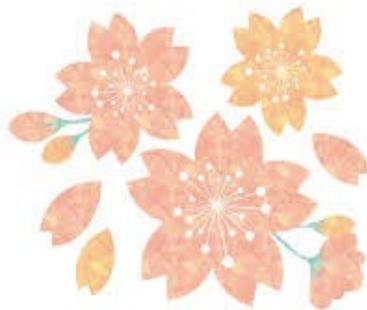


四中だより



市川市立第四中学校
学校だより No.11
令和4年3月23日
校長 川又和也

さわやかな風がそっと頬をなでていく、気持ちのよい季節、桜の花もまさにいっせいに開かんとする頃となりました。間もなく令和3年度が幕を閉じます。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの制限を強いられる中での教育活動となりました。縮小、中止となった行事もありましたが、基本、授業や行事は子どもたちの活動を中心に、様々な工夫を凝らしながら進めてまいりました。子どもたちの元気な声や頑張っている姿、マスク越しの笑顔に支えられた1年です。このコロナ禍での毎日を「我慢を強いられた嫌な時間」とするのか、「生きていくうえでの貴重な体験」と捉えるのか。心の持ち方次第で明暗は逆転するものです。北京オリンピックでのアスリートの言葉に“努力は決して無駄ではない”“諦めない”“挑戦する気持ちを持つ”“自分にもできる”等々、心に響くものがいくつもありませんでした。幸せは誰かから与えられるものではなく、自分で掴むものです。どんな経験も不必要なものではなく、大切なものばかりであると考えたいものです。



さて、メールでも随時お知らせをしてきましたが、1月以降、本校でも30人を超える新型コロナウイルス感染症の陽性者が出ています。学級閉鎖や学年閉鎖等の対応で大変ご心配をおかけしました。そのような状況下ではありましたが、先日9日、第73回の卒業証書授与式を挙行し、189名の卒業生を送り出すことができました。整然とした雰囲気の中で、担任の呼名にしっかりと応える卒業生の姿、代表生徒による答辞の中に盛り込まれた、合唱曲「正解」の歌声がとても印象的でした。心身ともに目覚ましい成長を遂げた卒業生、この姿を是非、後輩である在校生にも見せたかったのですが、残念ながら今年度も叶わず、後日の全校集会で動画視聴となりました。在校生は、前日の式場の準備から、校舎、体育館の清掃と飾り付けに取り組み、廊下に掲示をした はなむけの言葉やメッセージからは、先輩を慕う素敵な思いが伝わってきました。そのお陰もあり、とても良い卒業式となりました。なお、卒業生については、全員の進路が決定しています。体調面での心配が尽きないコロナ禍での入試ではありましたが、大きなトラブルもなく、4月からは、公立高校に50%、私立高校に40%の生徒が進学し、その他は、国立高校、高等専修学校、定時制、通信制の学校等、多様な進路先で活躍をしてくれる予定です。

在校生は、まもなく2年生・3年生へと進級します。例年、3年生は、学校行事の他、進路選択のための様々な活動があり、忙しい一年になります。コロナ禍でもあり、なかなか先が見通せない状況下ではありますが、子どもたちが自身の将来をしっかりと考え、進路選択することが何より大切です。一方、2年生は、ちょうど思春期のピークも重なり、ささいなことであっても思い悩んだり、精神的に不安定になったりする年ごろです。この不安定な時期を乗り越えていくためにも、学校と家庭の連携は不可欠です。子どもたちの様子で心配な事があれば、遠慮なく学校に相談をしてください。次年度以降も、コロナ感染症の拡大が懸念されますが、新しい生活様式の中で、子どもたちの学びの保証と安全安心、心理的な安定を図っていきたいと思います。

市川市防災教育の日 3・11

市川市教育委員会では、3月11日を「防災教育の日」として制定し、災害時における避難行動や適切な判断及び対応を学ぶとともに、東日本大震災の教訓を語り継ぐことにより、幼児・児童・生徒の防災への意識高揚を図ることを目的としています。

今月4日、本校でも校内放送による防災集会を開催し、市川市教育委員会教育長からのメッセージを伝えた後、子どもたちに向けて話をしました。東日本大震災から11年、つい先日も宮城、福島で震度6強の地震が発生しました。また、1月にトンガの海底火山で大規模な噴火が起こり、地震や津波警報が世界規模で出されたことも記憶に新しくあります。ほかにも、気象変動による豪雨災害や台風による被害等も毎年報告されています。自然災害は、いつ・どのような形で我々に降りかかってくるかわかりません。災害の映像を見たり、訓練をしたりする中で「今ある生活は、当たり前であって当たり前でない」といった生徒の感想をよく目にします。とても重みのある深い言葉だと思えます。今日は今日しかないのだからと生きて生きる、今の生き方を後悔のないように大事に生きる、こんなことを意識しながら日々の生活を送れば、毎日の行動はきっと変わる気がします。この大震災を風化させずに事実を伝え残し、子どもたち一人ひとりが災害に強い街づくりと防災への心構えを持ち続け、いざという時には、とるべき行動がとれるよう、考える機会としました。

新型コロナウイルス感染症に関する対応の一部変更について

21日で新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が解除になり、県内の新規感染者が減少傾向にあることなどを踏まえ、下記の2点、対応についての運用が一部変更になりました。

- 学級閉鎖の判断：①生徒に感染者が判明したら、濃厚接触者等の特定など全体像が把握できるまでの期間、数日～5日間の閉鎖を検討する ②同一学級で複数の感染者が判明したら、感染者の状況に応じ、上限5日間の閉鎖を検討する。
- 登校を控える場合：①生徒が、新型コロナウイルス感染に感染した場合 ②児童生徒が、感染者の濃厚接触者に特定された場合 ③児童生徒に、発熱等の風邪症状がある場合

今後の主な行事予定

- 3月25日（木）修了式・離任式
- 4月 7日（木）令和4年度始業式
- 11日（月）入学式 1年生保護者会
- 12日（火）給食開始
- 13日（水）新3年生保護者会
- 14日（木）新2年生・大空学級保護者会



結びに

25日（金）修了式後、離任式を行います。年度末の人事異動で複数名の先生方が異動します。離任者の詳細は、原則、新聞発表後となっております。大変申し訳ありませんが、事前にお知らせをすることはできませんので、ご了承ください。卒業生や保護者の皆さんにおかれましては、31日（木）9時半～10時半に離任者が出勤をする予定ですので、学校にてご挨拶をすることができます。なお、離任者、異動先につきましては、新聞発表後、メールにて配信いたします。